

臨床研究に関する情報

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、日本における新型コロナウイルス感染症（COVID-19）問題および社会全般に関する健康格差評価研究および日本における社会と新型タバコに関するインターネット調査研究プロジェクトの参加者のアンケート情報を用いて行います。このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（令和 3 年文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第 1 号、令和 5 年 3 月 27 日一部改正）」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の連絡先へご照会ください。

[研究課題名] 小児期逆境の体験が神経性やせ症の発症に影響を及ぼす要因の検証

[研究機関名・長の氏名] 北海道大学病院・病院長 南須原 康行

[研究責任者所属・氏名] 北海道大学病院精神科神経科・石川 修平

[既存情報の提供のみを行う者・責任者氏名・長の氏名]

東北大学大学院医学系研究科公衆衛生学専攻公衆衛生学分野 田淵貴大・石井 直人

[研究の目的]

本研究は、上記プロジェクトである日本における一般住民を対象としたアンケート調査のデータを用いて、幼少期のストレスが神経性やせ症（摂食障害）の発症に及ぼす影響を検証することを目的としています。

[研究の方法]

○対象となる方

「日本における新型コロナウイルス感染症（COVID-19）問題および社会全般に関する健康格差評価研究」および「日本における社会と新型タバコに関するインターネット調査研究プロジェクト（研究代表者：東北大学大学院医学系研究科公衆衛生学専攻公衆衛生学分野 田淵貴大）」の参加者のうち、2024 年 11 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日までの間に実施したアンケート調査において、性別に関する質問に対して女性とご回答いただいた上で調査にご協力いただいた方

○利用する情報

＊2024 年 11 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日までのアンケート情報を収集します。

年齢、性別、診断名、体重、身長、教育歴、発達に関する質問、性格傾向に関わる質問、社会的孤立や孤独に関わる質問、幼少期のストレスに関わる質問、日常生活で感じるストレスに関する質問、人との関わり方や対人関係に関する質問、インターネットや SNS の利用状況に関する質問、食事や生活の質に関する質問

[研究実施期間]

実施許可日(情報の利用開始： 2025年10月下旬頃)～2026年3月31日

2025 年 9 月 2 日（第 1.1 版）

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、参加者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する参加者さんの情報に関しては、お名前、住所など、個人を特定できる情報は削除した状態で東北大学より北海道大学に電子的に提供を受けます。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も参加者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

* 上記の研究についてご質問などある場合は以下にご連絡ください。なお、本研究で用いる情報は個人を特定できない状態で情報を入手しており、個々の情報の利用について拒否を行うことは出来ませんのでご理解ください。

[北海道大学病院の連絡先・相談窓口]

北海道札幌市北区北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院精神科神経科 担当者 石川 修平

電話 011-706-5160 FAX 011-706-5081